

特定非営利活動法人アフタースクールはるけ

はるけ通信 NO.41

会報発行責任者：谷津 尚美
会報発行者：広報委員会
発行日：平成28年6月吉日
(年3回 6・9・1月発行)

〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-7-37 柏木鈴木ハイツ1

TEL：022-778-8666 FAX：022-707-0057

メール：npo-paruke@paruke.com HP：http://paruke.com/

ブログ（法人・事務局）：http://blog.canpan.info/parukeblog/

ブログ（活動日誌）：http://blog.canpan.info/npoparukeblog



お知らせ

平成28年4月7日より 事務局が昭和町から柏木へ移転しました
〒981-0933 仙台市青葉区柏木1丁目7-37 柏木鈴木ハイツ1
(電話・ファックス番号に変更はありません)

～ 目次 ～

○ La cuatro estación(春夏秋冬)	1
○ 第11回通常総会報告	2～5
○ 事業所紹介	6・7
○ 今後の予定 / 研修報告 / 募集	8

La cuatro estación (春夏秋冬)

障害のある人が困っている時にその人の障害に合った必要な工夫ややり方を相手に伝えて、それをしてもらうことを合理的配慮といいます。一人一人がちよこつと・ねつとの思い（支援力・受援力）を発揮して誰もが暮らしやすい素敵な仙台にしていきたいですね。

「障害及び障害者に関する理解を深めるとともに、市が実施する施策に協力するよう求めるもの」とあります。平成23年6月に実施した仙台市障害者等保健福祉基礎調査結果では、心身障害児の家族の83.6%、発達障害児者の家族の88.1%が、お子さんに障害あることで差別を受けたり、嫌な思いをしたことがあると答えていました。

仙台では「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちを作る条例」が同時期に施行されました。この条例制定の目的は『障害の有無に関わらず、暮らしやすい地域社会の実現を目指す。』というものです。この条例では、市民の責務として

「障害のある人もない人も共に生きる社会をつくること」を旨としており、「不当な差別的取扱い」と「合理的配慮をしないこと」が、差別になります。

「障害者差別解消法がスタート」

代表理事 谷津 尚美

第11回通常総会開催

日時：平成28年5月28日（土）

14：30～16：30

場所：仙台市福祉プラザ 第2研修室

特定非営利活動法人アフタースクールはるけ定款第5章第27条により、正会員総数43名の2の1（22名）以上の12名のご出席と9名の委任状及び8名の書面による表決をいただき、第11回通常総会が成り立ちました。

第1号議案 平成27年度事業報告及び決算の承認

平成27年度「はるけの様子」スライドショーの上映後、総会資料に沿って事業報告及び決算・監査報告を行いました

総括

●3年間継続で頂いたセーブ・ザ・チルドレン×さなびりファンド とも☆はぐくみファンド支援事業が11月に終了しました。この3年間で、人材育成、ちょこっと・ねっと、あみごクラブ、組織基盤整備について、多くのノウハウやネットワークを獲得することが出来ました。今後は、これらをどう活かしていくかということが問われてきます。定着発展していけるように職員一同で取り組んでまいります。●昨年度から取り組んできた「働きがいのある職場作り」では、職員合宿や誕生カード、リレーマラソンの参加なども企画行っていました。●はるけ南仙台とはるけかりーじょの移転を9月にすることが出来、はるけ西中田と合わせて南エリアの一体的な支援を実現することが出来ました。●はるけ西中田以外の事業所の利用者減が続いていることは、継続的な課題です。

会員報告

正会員	-	41名
賛助会員	-	114名
寄付者	-	5名

*H26年度

正会員43名

賛助会員87名

寄付者12名

募集リーフレットを作成し、積極的に広報を行いました。それにより、当法人が認定NPO法人を目指すことに際してご理解を頂き、賛助会員数が増加し、平成26年度より合計して必要人数を満たすことができました。ありがとうございます。平成28年度は、現在会員になって頂いている方の継続と、より多くの理解者・協力者を求め、会員数の増加を目指していきます。



事業報告

<委員会>

広報	・ブログの更新・はるけ通信の発行・ホームページのリニューアル ・パンフレット 新規作成・リーフレット 新規作成										
減災・BCP	各事業所で毎月 避難訓練実施 6月3日 全体避難訓練実施 6月 放課後等デイサービス事業所で子どもたちと一緒に避難訓練・非常食体験実施										
虐待防止	第1回 6月26日 虐待防止委員会の役割について（ガイドラインの勉強会） 第2回 9月4日虐待に関するアンケートの分析 第3回 9月25日虐待の芽を摘む取り組み案作成 第4回 11月6日 実践の振り返り										
ボランティア	8月 夏ボラ（ゆるる）受け入れ 2月 ボランティア交流会 委員会 7回開催										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業所</th> <th>ボランティア 受け入れ人数（延べ）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柏木</td> <td>67名+実学66名</td> </tr> <tr> <td>南仙台</td> <td>25名</td> </tr> <tr> <td>西中田</td> <td>121名</td> </tr> <tr> <td>はるけ通発送</td> <td>16名（3回実施）</td> </tr> </tbody> </table>	事業所	ボランティア 受け入れ人数（延べ）	柏木	67名+実学66名	南仙台	25名	西中田	121名	はるけ通発送	16名（3回実施）
事業所	ボランティア 受け入れ人数（延べ）										
柏木	67名+実学66名										
南仙台	25名										
西中田	121名										
はるけ通発送	16名（3回実施）										

<連携>

はるけでは、障がいのある方に関わらず、安心して地域生活を送ることができる社会構築の実現のため、様々な団体との連携を大切にしています。平成27年度は、放課後ケアネットワーク仙台（研修部会所属）、子どもの放課後支援をすすめる会（事務局長）、てらまちフェスタ実行委員会、西中田小元気づっ子祭りなど、11のネットワークや会議に参加しました。

<セーブ・ザチルドレン×さなぶりファンド こども☆はぐくみファンド支援事業>

継続支援3期目を受けました。(平成26年7月～平成27年6月までの助成期間。+11月末まで延長)

- ①きょうだい支援のファシリテーター養成講座を2日間実施
- ②きょうだい支援の必要性を広く伝える講演会を1回実施
- ③きょうだい支援のこれまでの活動をまとめた冊子を100部作成
- ④全職員対象にチームビルディングと相互理解を目的とした1泊2日の合宿を1回実施
- ⑤ちよこっと・ねっと：車につけるマグネット(チャレンジ乗車中)40個作成。マーク推進の啓発活動実施
- ⑥あみーご：6/28小学生あみーご+中学生以上あみーごオフ会、きょうだい支援を広める会の実践報告会参加
- ⑦人材育成：常勤職員(13名)が、スキルアップのための外部研修に参加
- ⑧ホームページリニューアル・リーフレット作成・パンフレット作成

<富士火災ふれ愛倶楽部様 寄付金>

平成27年4月、AIGグループの富士火災保険株式会社の社員で行っている社会貢献事業の寄付金先に決定。50万円を受諾。寄付金内容は、ちよこっと・ねっとで行うバスケース制作費として受託。1,800個完成。

<助成金以外の研修>

内部研修 5回 + 救命救急講習+新人研修 外部研修 18回 50名(延べ)

<放課後等デイサービス事業> ぱるけ柏木 ぱるけ南仙台 ぱるけ西中田

共通の月ごとのテーマに沿って、事業所ごとに計画。また、管理栄養士の監修による手作りおやつの実施。

4月	仲間づくり①	8月	楽しい夏休み	12月	クリスマスを楽しむ
5月	仲間づくり②	9月	皆で協力して楽しむ	1月	お正月遊びを楽しむ
6月	防災の意識	10月	秋の味覚を知る	2月	風邪に負けない体づくり
7月	身だしなみマナー	11月	ありがとうの気持ちを伝える	3月	卒業・進級を祝う

年間利用人数	柏木	南仙台	西中田	年間開設日数
	1,851人	2,093人	2,472人	240日

柏木	●季節感を大事にした活動やおやつ作り活動を行うことができた。●工作などの活動の最後に発表する機会を取り入れ、自分の作品を見せたり意見を話したりすることにより、自信や達成感を得られた。 ●打ち合わせ、職員会議の内容を見直し、また日誌等の書式を変更したことにより、KYや配慮事項を共有しやすい環境につながった。●10周年を祝う会を通して、保護者や職員を含めて、今までの活動を振り返ることができた。また、卒業生や保護者との再会により、成長を共に実感することができた。 ●職員同士、お互いを尊重しあい、協力して支援ができた。KYなどを共有して支援をすることができた。●個別にプログラムを作り環境を整えたことで、子ども達はより見通しをもって過ごすことができた。●遊び用具を整理して増やしたことにより余暇活動の幅が広がった。
南仙台	●職員一人一人のスキル向上に向け、生徒一人一人にかかわる支援に対し顔が見える関係づくりを行なった。後半は南エリアでの一体的な支援を行うことができた。●ぱるけ職員管理栄養士の監修のレシピで作ったおやつが好評で家庭にも広がっていった。●(ケア内容)所属クラブを決め生徒一人一人の所属感の意識が芽生え自発的な活動をすることができた。
西中田	

<障がい者ヘルプ事業> ぱるけかりーによ

年間利用件数	居宅	1,268件	移動	1,419件
--------	----	--------	----	--------

●スタッフの連携強化により、支援方法の統一や、より利用者のニーズに合った支援を重点目標として取り組んだ。ケース会議の定例化、ヘルプ報告や記録の整備によりスタッフ間の共有を充実化することができた。●一人のヘルパーが担当する利用者を増やし、ヘルプ依頼により対応できるようにした。同時に、新たな視点を取り入れて考えることができた。●10周年イベントの開催により、10年間の感謝を伝え、自覚と新たな気持ちを持つことができた。●地域の店舗、また同じ店舗や施設に外出することで、地域との関係性を作ることができた。●支援者会議の参加により、計画に基づいた支援の方向性を共有し、実践できた。

<家族支援事業>

ちよこっと・ねっと	<ul style="list-style-type: none"> ●定例会6回 ●「チャレンジ乗車中」マグネット完成 ●福祉まつり「ウエルフェア2015」参加 ●パスケース贈呈式 ●わらしべノート作成ワークショップ ●サロン ●仙台防災未来フォーラム2016参加 ●出前講座
あみーごクラブ	<ul style="list-style-type: none"> ●小学生あみーご 3回 ●中学生以上オフ会 4回 ●Hोटとキッズ&あみーごまつり
卒業生プログラムあみすた	●年間3回 22名
しえんぴれ	<ol style="list-style-type: none"> 1 放課後等デイ・ヘルプ+学校送迎・・・336回 2 緊急時対応
家族参加イベント	●柏木&かりーによ10周年イベント ●卒業を祝う会

<その他>

講師派遣

- ・仙台市自立支援協議会協議委員 代表理事
- ・ 9/21 特殊教育学会きょうだいたい支援部会 代表理事 あみーごメンバー1名
- ・10/ 2 障害者差別解消法コロナカフェシンポジウム 代表理事
- ・11/ 1 きょうだいたい支援を広める会活動報告 代表理事 職員1名 あみーごメンバー2名
- ・11/21 東北福祉大防災シンポジウム「インクルーシブ防災を目指した街づくり」
代表理事 ちよこっとメンバー2名
- ・ 3/ 2 幸町市民センターボランティア講座 (代表理事 ちよこっとメンバー2名)
- ・ 3/11 ワークつるがや出前講座(代表理事 ちよこっとメンバー1名)
- ・ 記念誌、クリアファイル、あみーご冊子、紙芝居

販 売

第2号議案 平成28年度事業事業計画の承認

事業計画



<28年度の方針>

- 職員行動規範の改定
- 認定NPOの申請を行う予定。寄付金や会員増加のために広報に力を入れていく
- 今年度から開所した相談支援事業所の事業安定
- 西中田の移転
- 収支バランスの回復
- 家族支援事業の安定的な運営
- 人材育成の更なる強化

<委員会>

広報	<ul style="list-style-type: none"> ●プログラムの更新(更新の流れの確立、スムーズ化) ●ばるけ通信の発行(年4回発行) ●ホームページ更新(内容の定期チェックと、更新のシステム化)
減災・BCP	<ul style="list-style-type: none"> ●各事業所毎月1回避難訓練実施 ●職員全体避難訓練実施 ●放課後等デイサービスで子どもたちと一緒に避難訓練
虐待防止	<ul style="list-style-type: none"> ●全体職員研修(11月) ●虐待の芽を摘む取り組み(各事業所) ●児童虐待啓発(オンラインストラップの名札作成) ●虐待防止委員の虐待に対する学びを深める
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ●ゆるる、社協の夏ボウ受け入れ ●ボランティア募集のための大学訪問、案内郵送 ●ボランティア交流会の企画・運営 ●継続的なボランティア募集呼びかけ

<発達支援事業>

<ばるけが大切にしている「地域の中で安心して笑顔で過ごせるための支援方針」>

1. 余暇を楽しめる力を育む
 - ・自己肯定感・成功体験・チャレンジ・チャレンジ・楽しみ・仲間と過ごす余暇
 - ・一人で過ごす余暇・休息 など
2. 自分らしくいきいきと過ごせる力を育む
 - ・協調性・困った時に相談できる力・自己選択・自己決定・自己決定・切替
 - ・コミュニケーション など

○放課後等デイサービス事業 ばるけ柏木 ばるけ南仙台 ばるけ西中田)

月ごとのテーマと管理栄養士監修のおやつ作りの継続、支援方針に沿って、各事業所ごとに内容を計画支援方針

柏木	●一人一人の特性や年齢に応じ、一人でも、友達とでも楽しめる活動を提案、提供していく。その中で、自己選択・自己決定の機会を多く取り入れ、やってみて楽しかった経験・次はこうしようというチャレンジする気持ちなどを積んでいけるようにする。●友達や職員等とのやり取りを通して、自分の気持ちを伝えたり、折り合いをつけたりする経験を積んでいけるようにする。
南仙台	●一人一人が自由に表現をし、表現する喜びを体験する（創作活動）●日頃から自然に触れる機会を設けて外遊びをする（外遊び）●地域交流の機会を設け、みんなで楽しく買い物をする（買い物活動）
西中田	●一人一人がやりたい活動を自己選択して取り組み、多彩な活動プログラムに参加する（余暇活動） ●友達と楽しく活動する中で共通の目的を見つけ協力する（全体活動） ●余暇を楽しめる力・自分らしくいきいきと過ごせる力を育む：①安心してできる仲間や支援者とのかわりを通して余暇の充実をはかっていく②クラブ活動を通してコミュニケーションを豊かになるように環境を整える。●地域活動の中で自立を意識できるような環境をはかっていく。

○障がい者ヘルプ事業 ばるけかりーによ

支援方針

- 本人が余暇選択の決定を伝えることができるような、関わりをしていく。
- コミュニケーションをとりやすいツールの提案と実践。

<相談支援事業> あでらんで

活動方針

- ①相談利用者の最新ニーズの把握 ②相談者の総合的支援 ③関係諸機関との速やかな連携
- ④初年度は、一つ一つ確実に実績を積み、年間を通して安定的に提供できる基盤整備をする

<家族支援事業>

ちよこつとねっと	①定例会年間6回開催 ②10月ウェルフェア参加 ③上半期、下半期サロンを兼ねた活動報告会各1回（パスケース配布含） ④てらまちフェスタ、元気っ子まつりへのWS実施 ⑤パスケース配布と主旨の理解推進＊28年度はマスコミ等も含め広報活動に力を入れる
あみーごクラブ	①6/26 第1回小学生あみーごクラブ、中学生以上オフ会 ②6/30 Hoつとキッズ&あみーご 合同 保護者勉強会 ③10月第2回中学生以上オフ会 ④12月第2回小学生あみーごクラブ、第3回中学生以上オフ会 ⑤3月合同あみーご（小～成人）＊年4回あみーご通信発行、年代に合った情報の提供 ※s i b s h o p sのWSを取り入れる
卒業生プログラムあみすたしえんぶれ	①卒業生プログラムにこだわらず『成人の余暇支援』とする。対象者を就労している方全員に広げる。②広く広報し始めるの同窓会的役割を果たす ＊年7回開催予定 しえんぶれ1（放課後等デイ+学校送迎の場合）しえんぶれ2（緊急時対応：公的サービスゼロ）＊ニーズに応じた支援を継続
家族参加イベント	卒業を祝う会 通所事業所ごとに3月末に実施予定

ばるけ事業所紹介

ばるけは現在5つの事業所と総務部で活動しています。各事業所が法人の方針に則って方針を立てながら、それぞれ事業所の強みを生かし、利用者の支援・業務を行っています。今回は、各事業所のピエールをご紹介します♪

事務局総務部

ばるけを利用している子どもたちとそのご家族、日々ケアに関わる全ての職員、ボランティアの皆さん、ばるけの理念に賛同し支えて下さっている会員の皆さま、いつも温かく見守って頂いている地域の方々、子どもたちの成長にも関わって頂いている各関係機関の方々…皆さまから、今よりもさらに信頼され愛されるけるけへと成長していくように、“縁の下の力持ち”として事業所を支えていきたいと思っています。今年度、柏木のすぐそばに移転し、事業所との距離もより近くなりました。北部の一体的な業務を目指すとともに、各事業所でのよりスムーズな連携を行う仕組みづくりにも力を入れていきたいと思っています。

あでらんと

～相談支援事業所～

平成28年4月より、急願だった相談支援事業所を開設いたしました。
「あでらんと」とは、スペイン語で「前へ」という意味です。一緒に前に進んでいきたいという思いで名づけました。ご本人が一歩ずつ前へ進んでいけるように、ご本人と関わることが、さようだい、主治医、学校の先生、福祉サービス事業所、行政等の関係機関の皆さまとも一緒に歩んでいきたいと思っています。どうぞよろしく願っています。

職員集合写真



かりーによ

～障害児者ヘルプサービスマター～

放課後等デイとの大きな違いは、《学齢期が終わってもヘルプは継続的に利用できる》ことです。1対1での支援ですから、個人のご希望が反映しやすく、時間設定も利用される方の都合に合わせて調整が出来ます。

また、ご自宅での入浴や食事の介助などもヘルプでは行えます。家族以外の大人とヘルプを利用して「シャワーを楽しむ経験や、自宅で1人でできる事」を増やす練習にヘルプをお使いになってみませんか？





ばるけ南仙台

～放課後等デイサービス事業所～
(小学生対象)

お子さんの思いを大切にし、一人一人のニーズに応じたさめ細やかな支援を心がけています。
小1年～6年生の縦のつながりを大切に、協力する力がつくように活動内容を考えています。
お子さんの将来の姿をイメージしながら、今何をすべきか、何が課題なのかをスタッフ全員で考え、お子さんの持っている力や良さ、強みを発揮できるように内面から支援します。
ばるけ南仙台は、みんなで楽しく元気に活動する笑いの絶えない事業所です！

ばるけ西中田

～放課後等デイサービス事業所～
(中・高校生対象)

平成28年度は登録人数39名スタッフ8名で発しました。楽しい場所楽しい仲間とともに一人ひとりの強みをいかした活動を行っていきなと思っています。

Myボックスを使った趣味活動の充実、クラブ活動では、フィットネス・クラブト・園芸のクラブに所属し、所属をこえて全員で関わられる様なプログラムを計画しています。また将来につながる作業活動として身の回りのお手伝い活動を自発的に楽しみながらできるように環境を整えています。



ばるけ柏木

～放課後等デイサービス事業所～
(小学生対象)

ばるけが一人ひとりにとって安心・安全で楽しい場となるよう、丁寧なかわりを大事にしています。学校以外のお友だち、家族以外の人のかわりを通し、スモールステップでの成功体験を積み、できることを増やしたり、自分の気持ちを伝えたり、折り合いをつけたりする力を伸ばしていきます。長期の休みには外食などの社会経験を通し、公共のマナーを身につけたり、放課後にはなかなかできない調理や工作等につくり取り組んでいます。

現在、利用者募集中です！
ぜひお問い合わせ下さい。



予定

- 6月30日(木) 袋原たんぽぽホーム合同子育て講座
「きょうだい児の思いと親に伝えたい事」
- 7月 6日(水) ちよこつと・ねつと定例会
- 7月10日(日) あみすた(顔合わせ)
- 8月13日(土) ~16日(火) 通所事業所・事務所益休み
- 9月21日(水) ちよこつと・ねつと定例会
- 9月23日(金) 全体職員研修 障害理解
- 9月24日(土) あみすた(成人を祝う会)
- 10月16日(日) あみすた(ランチプレート作り)
- 10月 2日(日) ウェルフェア ちよこつと・ねつと出展予定
- 10月 9日(日) あみーご(中学生以上対象)

研修報告

内部研修

5月13日	全職員研修 「ばるけの活動をよりよくするための行動規範を実現するために」 講師：桜井高志氏
5月15日	管理者研修 「管理者として必要な能力と資質・課題」 講師：桜井高志氏
6月14日	全職員 防災訓練

外部研修

5月24日	精神保健福祉基礎講座(初任者研修)	1名
6月 7日	仙台市 放課後等デイ ガイドライン研修	4名
6月10日	行動障害研修	1名
6月17日	仙台市障害者ケアマネジメント従事者研修	4名
6月24日	相談支援 スーパービジョン研修	2名
6月28日	子どもの放課後支援を支える会研修「みんなの学校元校長先生の講演会」	全職員

* 3月4月5月 新人研修

* 毎月各事業所で避難訓練を実施

招待 ありがとうございます



宮城県共同募金会様より、

「プロ野球楽天ゴールデンイーグルス」

観戦の招待をいただきました。

平成28年5月27日(金) 18:00開始

対日本ハムファイターズ

なんと、バックネット裏のVIP席が20席でした。

観覧車も見えました。当日は天気も良く絶好の観戦

となり、楽天的勝利でした。

NPO会員・寄付 募集のお願い

～ばるけにはどちらも必要です～

*** 正会員：総会の議決権があり、ばるけを一緒に育ててくれるパートナー**

*** 賛助会員・寄付者：活動に賛同し応援してくれるサポーター**

□ばるけは認定NPO法人を目指しています。そのため年間100名以上の寄付者が必要で、そこで、3000円以上の寄付をしてくださる方を募集しています。賛助会員になっていただくことも可能です。または、正会員の20目以降を寄付金としていただけます。

□お預かりした会費や寄付は、ばるけが行う「障がい児とその家族が安心して生活することができる地域社会の構築」のために自主的に行っている、きょうだいの会あみーごクラブ、ちよこつと・ねつとなどのNPO活動費として大切に使用させていただきます。

□会費：正会員 5000円/□ 団体会員 10000円/□ 賛助会員 3000円/□

□正会員は、総会の議決権があります。賛助会員には、総会の議決権はありません。

□正会員・賛助会員の皆さまには、ばるけ通信を無料で送付いたします。

□会費振込先 *振込先①：ゆうちょ銀行 02220-8-92726

特定非営利活動法人アフタースクールばるけ

*振込先②：77銀行 北仙台支店 店コード：257 □座番号：9125825

特定非営利活動法人アフタースクールばるけ 代表理事 谷津尚美(やつなのみ)

注1) お振込の際の手数料はご負担ください。

注2) 振込先②の77銀行の場合は、振込後、事務局総務までお名前住所電話番号をお知らせください

注3) 会員・寄付していただきました方のお名前を、ばるけ通信に掲載いたします。不都合のある方は振込用紙通信欄にご記入いただくか、事務局総務まで連絡をお願いいたします。

継続の方も
お手続きを
お願いします